

かける 四国

今治造船や伊予銀行など
愛媛県内の企業で事業所内
保育所を運営するのがマミ
ーズファミリー（松山市）
だ。0歳から小学校就学前
までの乳幼児800人を保
育園や事業所内保育所など
30カ所で開催している。同
社を立ち上げた社長の増田
かおり（52）は家庭に近い
環境を子供に感じてもらえ
るよう、母親の気持ちで接
することを中心としている。

1、120人に対応
「お母さんたちが仕事な
どで働き続けるのを手伝
いしたい」。増田は保育に
かける思いを語り、目を輝
かせる。

事業所内保育 母の目線で

マミーズファミリー社長
増田 かおり氏



ますだ・かおり 1963年松山市
生まれ。84年松山東雲短大保育科
卒。3年間、保育園に保育士とし
て勤務。94年に託児サークルとし
てマミーズファミリー設立。
2015年法政大大学院政策創造研究
科卒。3人の子供の母でもあり、
仕事と子育ての両立を目指す。

モール・病院…家庭の安らぎ

いが強まる。育児で悩んで
いた時、周囲の支援で乗り
切れたこともあって、サー
クルだったマミーズファミ
リーを法人化し、保育園の
運営を始めた。

徐々に規模が膨らんだの
はなく、女性の能力が評価さ
れた結果、と前向きに
受け止める。

2006年の診療報酬改定で
病院が看護士の採用枠を増や
し、院内保育所

の需要が高まった際に、事
業所内保育所の運営に参入
した。需要が高まっている
現状を増田は「労働力では

が母親の役割を担い、乳幼
児に家庭で味わえることを
疑似体験してもらう。たと
えば、1歳までの乳児に対
しては机ではなく、保育士
のひざの上で離乳食を食べ
させる。号令をかけるのは
なるべく避ける。施設の設
計でもキッチンを子供に見
えやすい場所に置くことを
強く意識している。

切にすると働く人を大事
にするのは最終的には一
緒」という信念のもと、保
育士が働きたいと思つ職場
づくりを心がける。定期的
に自慢大会を開き、保育士
に自分の価値を再認識して
もらう。大人の自己肯定感
は子供の自己肯定感に波及
するとして、子供の良い成
長にもつながると考える。

ITで体調把握

施設のIT（情報技術）
化も進めた。母親が子供を
預ける際、子供の健康状態
を施設の玄関に設置したパ
ネルに記入する。これを見
ればすべての保育士が、預
かる子供の状態を一目で分
かるようにした。

施設を増やしているた
め、保育士の確保は最重要
課題だ。増田は「子供を大
（松山支局 大嶋優樹）

支局 富

高松徳島

知山島松
0000887
088887
896531
895521
7421
203484
203349